

ほけんだより12月

2016.12.2
貝塚市立葛城小学校
保健室



寒さがますます厳しくなってきました。おなかをこわす子どもやかぜをひく子どもが増えてきています。朝来る前に、おうちでも顔色や熱に注意してあげてください。また、調子が悪いときや疲れているときは、就寝時刻を早めて、体力の回復が出来るようにしてあげてください。咳をしているときは、必ず、マスクを。

保健給食委員会

11月はいい歯の日と目の日を記念して、保健給食委員会で目と歯のクイズラリーをしました。自分たちでクイズを考えて校内に貼り、校内を回りながら、クイズを解きました。全問正解者は残念ながら0名でした。7問正解者が8名いましたので、優秀賞で表彰されました。



喫煙防止教育

11月24日に学校薬剤師の兒玉真也先生が5年生に喫煙防止教育を行ってくださいました。子どもたちの感想にも、「たばこはがんになったり、体にすごく悪いということやたばこは進められてもちゃんと断れなければならないことがわかりました。また、吸っている家族にも教えようと思いました。」とありました。お家でも、お話ししてみてくださいね。



大阪府感染情報センターによると

報告の第1位は**感染性胃腸炎**で以下、**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**、**流行性耳下腺炎**、RSウイルス感染症、手足口病の順でした。

感染性胃腸炎は前週比40%増の報告で、北南河内地区で警報開始レベルを超えている状態です。

流行性耳下腺炎は16%減ですが、泉州地域で罹患者が府下で1番多いので、まだ罹患していない場合はご注意ください。

インフルエンザも70%増で大阪市西部2.2、大阪市南部1.4、中河内1.3、南河内1.2と4ブロックで流行開始の目安である1を超えました。

流行性耳下腺炎

国立感染症センターH.Pより参照

流行性耳下腺炎は2~3週間の潜伏期(平均18日前後)を経て発症し、片側あるいは両側の唾液腺の腫脹を特徴とするウイルス感染症です。接触、あるいは飛沫感染で伝染するが、その感染力はかなり強いですが、感染しても症状が現れない不顕性感染もかなりみられ、30~35%とされています。

通常1~2週間で軽快します。最も多い合併症は髄膜炎であり、その他髄膜脳炎、睾丸炎、卵巣炎、難聴、肺炎などを認める場合があります。

※他のウイルス、コクサッキーウイルス、パラインフルエンザウイルスなどによる耳下腺炎、(特発性)反復性耳下腺炎などがあります。反復性耳下腺炎は耳下腺腫脹を何度も繰り返すもので、軽度の自発痛があるが発熱を伴わないことがほとんどで、1~2週間で自然に軽快します。流行性耳下腺炎に何度も罹患するという訴えがある際には、この可能性も。

耳鳴りやめまいの症状が出た場合は、難聴の症状ですが、訴えることができない幼年少者は見過ごされてしまうことがあるので、ご注意ください。



おうちの方

インフルエンザは登校許可意見書が必要です。



学校でも、風邪をひいている人がふえてきました。

手洗い・うがいをするようにおうちでも気をつけてあげてください。また、家族が感染性胃腸炎やインフルエンザにり患している場合や下痢症状がある場合は、感染予防のため、連絡ください。学校でも、感染防止の対応(使用後のトイレの消毒・給食室には入らない)ことを行います。

※ノロウイルスにご注意ください!※

例年とタイプの異なる、新たな型のウイルスが急増!!
流行が拡大する可能性があります。手洗いをしっかり行い予防をしま

ノロウイルスは、1年を通して発生するため、注意が必要です。昨年、国内で、例年とタイプの異なるウイルスが確認されており、このウイルスが流行した場合、人に免疫が無いため、例年以上に感染者が増加する可能性があります。

ウイルスの型が違っていても予防方法は変わりません。感染予防のために、次の3つのポイントに注意しましょう!



- 【手洗い】正しい手洗いを行い、手の汚れをしっかりと洗い流しましょう!
- 【食中毒の予防】 食べ物を調理する際に、熱湯消毒や洗浄、加熱をしっかりと行いましょう!
- 【適切なおう吐物、便の処理】 症状のある人のおう吐物や便を処理する際は要注意!塩素系消毒薬による正しい処理が重要です。→裏面に正しい処理の仕方について保健所からのお知らせを載せています。参考にしてください。



感染性胃腸炎の流行状況

(大阪府における定点あたりの患者報告数の推移)



大阪府 HP 平成28年11月24日更新内容

